

平成 30 年度

生活支援体制整備研究会なにしてる？

# 研究会しんぶん

第 4 号

〈発行者〉

嘉手納町社会福祉協議会

生活支援コーディネーター

比嘉

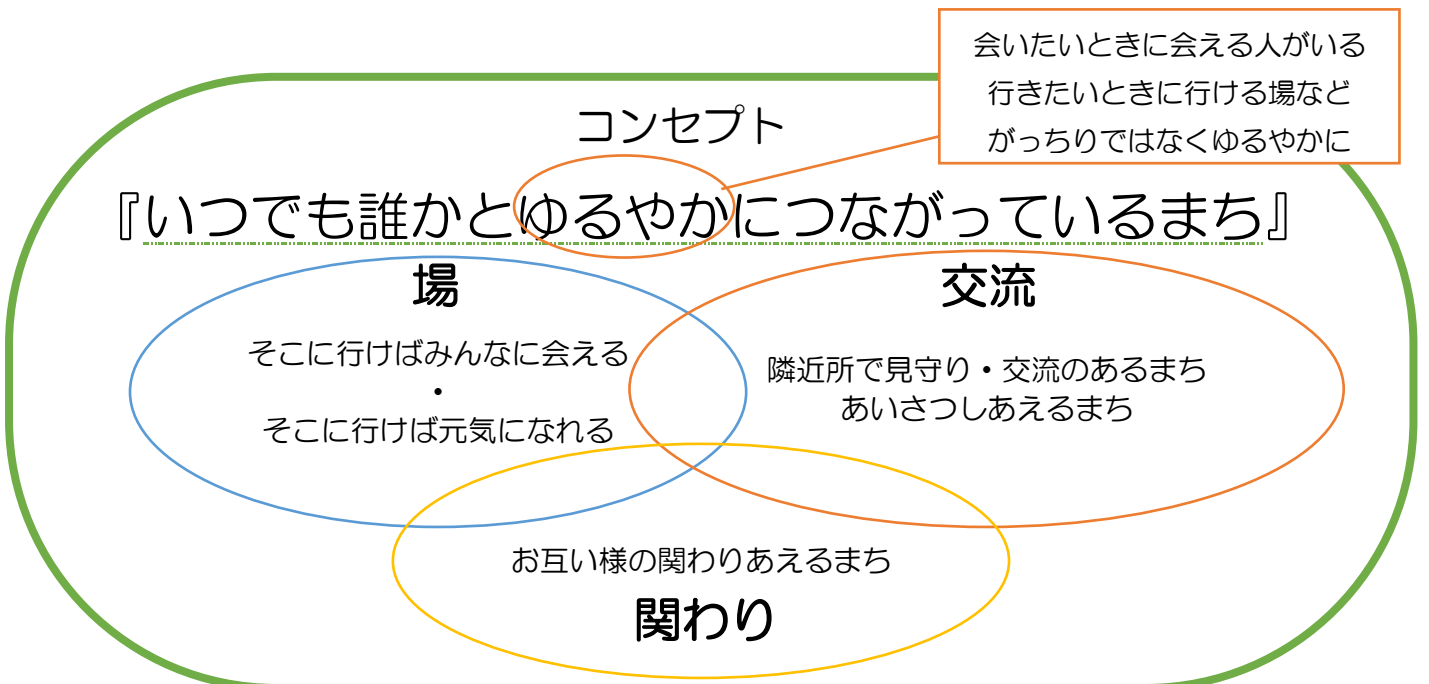


今年度からは、各地域での話し合いの場の仕組みづくりと有償での支え合い活動の2本の柱を元に話し合いを進めております。わいわい楽しい研究会の雰囲気大切に、みんなで知恵を出し合い、進めていこうと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

嘉手納町では平成28年度より、生活支援体制整備研究会を開催し、「いつでも誰かとゆるやかにつながっているまち」をコンセプトに地域に合った仕組みづくりを行い、さらなる支え合いのまちづくりへ向けて一歩一歩前進しています。

## 『いつでも誰かとゆるやかにつながっているまち』へ向けて

町民一人ひとりが幸せ・生きがいをもてる暮らしをつくるため、基本となるコンセプトを研究会のメンバーの皆さんと一緒に考えました。



# ごちゃませ社会の実現へ！

## 佛子園理事長さんの話を聴きにいきました！

10月25日（木）沖縄コンベンションセンターにて第61回沖縄県社会福祉大会がありました。

その中の記念講演として石川県にある社会福祉法人

ぶっしえん 佛子園の理事長の雄谷良成さんのお話があり、研究会のメンバー6人と一緒にきいてきました。

佛子園は「ごちゃませ」をキーワードとしながら、高齢者・障害者の福祉施設や働く場の提供、地域の方々の集いの場など地域づくりを行い、国が進めている「地域共生社会」のモデルともなり、また「生涯活躍のまち」の先駆としても、最近とくに注目を集めはじめた創造的なまちづくりを行っている法人です。



写真・図：佛子園 HP より

講演の中で雄谷さんは、「ごちゃませの地域は子どもから高齢者まで、すべての人が機能しみんなで地域をつくりあげていく。これからの社会はそんな人と人がつながり、参加する時代になっている。」そしてその実践事例として、意図的な機会と場をつくり、認知症の方と障がい者が出会い、つながりそれぞれの症状が改善された事や地域の

つながりが活発になったことで10年間で20世帯増加したこと等を会場と対話しながらお話をしました。

嘉手納町でも、生活支援体制整備研究会や地域での話し合いの場にて「いつでも誰かとゆるやかにつながっているまち」へ向けて話し合いを進めています。

それがカタチになり、ふつうになるような仕組みづくりに向けて話し合っていきたいと思います。

### 編集後記

皆さま、こんにちは。研究会しんぶんを手  
に取っていただきありがとうございます。  
夏も終わり涼しくなり過ぎやすい季節が  
やってきましたね。皆さまは「○○の秋」とい  
えば何をいれますか？私は断然「食欲の秋」  
です(笑)  
実り多い秋は美味しい物がたくさんある  
のでついつい食べちゃいます♪  
そろそろ始まる「なかゆくい広場」が  
とても楽しみです♡  
そんな私ですが、今後ともどうぞよろしく  
お願いいたします。

生活支援コーディネーター 比嘉舞

### お知らせ

地域の話し合いの場からうまれた

ちがゆくい広場  
はじまるよ！

2018年11月14日(水)より

毎週水曜日 15:30~16:30

中央区コミュニティセンターにて

カフェコーナーも  
あるよ♪  
町内外の商店や  
地域でとれたお野菜・果物等が  
中央区に集合♪みんなきてね☆